

イエスは主なり



日本クリスチャン・アシュラム連盟

日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 '94 1.1 89



『スタンレーの信仰』(1)

—第2回セミナー開会礼拝にて—

海老澤 宣道

コリント第1書3章18～23節はスタンレーが1924年アズベリー大学の卒業式に来賓として臨んで話した説教のテキストです。ここにスタンレーの信仰・思想を読みとることができます。彼が帰天されて20年、その信仰・人格に直接学んだ人々が高齢化して、それらが良く伝わって行かなくなってきました。若い人々に後を継いで欲しいのです。

今回のアシュラム・セミナーで学ぼうとしている「インド途上のキリスト」はスタンレーがインド伝道を開始してから10数年後に書いたもので、彼の信仰・思想・行動がいかにキリストに集中して行ったかに就いて多くを語っています。

近年キリスト教の宣教活動に、ケズイツフ、ワールドビジョン、フルーセイド等多くあるのに、何故アシュラムが起こされたのでしょうか。インドが英国の支配を300年も受け、その国家権力を背景にして、各地に大会堂を建て、インド人を教化している英国教会が福音を強固な組織や制度の中に包み込み、活ける主イエスとの自由な霊の交わりを抑えている状況をスタンレーが見て、初代教会の霊交（コイノーニヤ）を回復する使命を痛感させられたのがアシュラムを起こす原動力となっていたと思います。

1990年にカナダで国際アシュラムが開催された時、ワールドビジョンの副総裁の1人が福音の時の話を担当しました。彼は大声をあげ、激しい口調でアツピールする説教者です。聴衆の一女性が、そんな大声を出さなくても聞こえますよ、と注意した程でした。静聴を重んじるアシュラムがアメリカでは変わりつつある

ように思われます。スタンレーが1930年にヒマラヤの山中で、インド人牧師と英国の婦人宣教師と3名で「静聴の時」をもったのがアシュラムの始まりであることを決して忘れてはなりません。

スタンレーの信仰に就いて米国アシュラム連盟の季刊誌にパウロ・リース師が書いています。彼は1924年にアズベリー大学の卒業式で来賓として来られたスタンレーの説教を聞いたが、コリント第1書3章23節の「そしてあなたがたはキリストのもの、キリストは神のものである」を引用して、博士がキリストへの全き服従を説いたと述べています。スタンレーはあくまでキリスト中心であり、そこから一歩たりとも逸脱していないのです。彼は常にキリストとの瞑想による霊的交わりを高調しました。

スタンレーは学識に於て第1級の人物でしたが、平易な言葉を用いて語りました。彼は各種の神学や信条を論じるよりも、単純に「使徒信条」を告白し、三位一体の神を信じ、偏らず、均衡した教理に立って福音を宣べ伝えました。

彼はキリストは神の自己啓示であり、「言が肉体となった方」で、そこに神の国が実現していると述べています。彼は聖書全体をまったき神の言葉として信じました。

聖霊の理解に就いても、いわゆる「カリスマ」的ではなく、聖霊は各種の賜物（カリスマ）を各自に分け与える、としています。（コリント第1書12章3～11節）彼の聖霊に対する信頼は純粹でした。（次号に続く）

(日本アシュラム連盟理事長)

1994年 1月 1日



スタンレー
ジョーンズ
コーナー

キリストはだれにも必要である—3—

「ガンジーが存命中であったから、キリスト教会には大きな期待があった。もしガンジーがキリスト者になったら、インドに大きな変化が起こるのではないかと。」

しかしガンジーの心の王座はまだ空虚である。いまだにその王座を占めることの出来る方が居ないからである。

私はガンジーに会いに行つて数日間彼と共に過ごした。これは私の数人の宣教師の友を恐れさせた。彼らの或る者は「スタンレー・ジョーンズさんにはどんな事が起こるか分かりません。彼はヒンズー教徒になるかも知れません」と言った。

しかし私は私の福音を徹底的に信じているので、喜んでそれをヒンズー教が備えている最も洗練された、最高のものにさらしたかったのである。なぜなら、人生の避け所は唯一つであり、それは真理と真実の中にあるからである。もし私の保有しているものが真理と合致しなければ、私はできるだけ早

く真理を見出そうとすることがよいのである。だから私は全ての窓を押し開けて、今まで私が持っていたものよりも良いものが入れるようにした。

或る宣教師が次のように手紙で言ってきた。「私はあなたがあそこに行くのを見て恐れた。あなたがあそこから出て来る時には、宣教師でなくなるだろう。あなたの熱愛の中枢が切られてしまふのではないかと心配した。私がそこに居た時、一人のサズーがガンジーに二つの質問をしようとして、八百マイル離れた所からやつて来た。インドはそんな国なのだ。その二つの質問をガンジーにした後、彼は私の所に来て同じ質問をした。「私はどうしたら罪を除けるか。どうしたら神を見出せるか。私は「ガンジーがあなたに何と言わせたか。さし支えがなければ教えていただけませんか」ときいた。彼は「はい、いいですよ。ガンジーは私に、『サズー達がしているように歩き回るのをやめて一定の場所にじつと座り、自分の感覚と欲情を克服し、更にそれらを使い果たしたら、あなたは解放を見出すかし知れない』と言われました。」と答えた。私は問うた。「解放が直ちに起こると言う提示はなかったのですか」と。「いいえ、ありません。それは、それは永い、永い時間を要するだろう」と言われました。」と答えた。彼は私に振り向いて問うた。「あなたなら何と言

いますか」と。私は彼に自分に起こったことを話した。私の願いは全く彼の願ひであった。何故なら私は彼と同じ二つのニーズ(必要—否定的なもの、肯定的なもの)を持つていたからである。

私には罪から免れる道を知るニードがあった。また神を知るというニードがあった。しかし私が自分の欲情を留めたいしてしまふまで一つの場所に留まる必要はなかった。私はただ破産した私の魂をイエス・キリストに引き渡した。すると見よ。私が自分の全てを委ねた時、主は私の全てを私に与えて下さったのである。そのサズーは言った。「ジョーンズさん、あなたはこの事を話してくれた一番目の人です。そしてもう一人の人もクリスチャンでした。」これは全ての問題の核心を示してないだろうか。キリスト教以外の信仰は人間の神への追求心を物語っている。それは晴れやかな、感動的な追求であり、実に誠実な緊張した追求であるので……、私は固執をのんで、探し、探し、探し、人生の扉を叩き続けている。人々を見守っている程である。何と彼らは探し求めて来たことだろう……。

しかし、イエス・キリストの福音はたんに人間の神追求ではない。それは神の人間追求である。愛肉を通し上よりの愛が鼓動している。十字架、復活を通して同じ愛が鼓動している。その愛が年月を経て私について来ている。永い間彼は愛によって働いた。そしていつも彼の後には探し求める愛の足音がつついていた。

あなたの指をさし入れてみなさい。そこに福音の心臓が鼓動している。まさにそれこそ非キリスト教世界が持つに至っていない大切な要素なのである。

めくみの証しの募集

アシュラムに参加して受けた恵みの証しを募集します。ハガキで左記宛お送り下さい。

日本アシュラム会報編集係
321-12 今市市吉沢五七九—一七
白川 鄭二

アシュラム生活の最良の友

アパ・ル・ム

海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、靈的な読物

価250円 年1,932円

申込先 ☎256 小田原市国府津3-11

振替口座 (東京) 1-193834 アパ・ル・ム

電話番号 0465-48-2010

日本語版は創刊以来43年続行中

アシュラムとは何か? Q&A

(5) 教会への奉仕と伝道

中島 彰

十一月号にはアシュラム五原則の第三「聖霊の啓導と充満」について述べられましたので、今回は第四原則「教会への奉仕と伝道」について学びます。

Q まず主題に「教会への」とありますが、なぜ「教会への」なのか、もう少し詳しく説明してくれませんか。

A 「教会」と訳されている言葉は、ギリシャ語で「エクレシヤ」です。その意味は、平たく言えば「神によって選ばれ召された者の集団」ということです。そこで、ある訳は「召団」または「集会」と訳しています。

パウロは若い時はサウロといい、キリスト教迫害の頭領でした。ところがダマスコ途上で復活のキリストに逢い奇蹟的回心をしてキリストの使徒パウロに変貌しました。サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。「主よ、あなたはどうなすか」「わたしは、あなたを迫害しているイエスである。」ときいた時、彼は愕然としました。なぜなら、彼は地上のイエスを見たこともなければ、迫害したこともないからです。そして、イエスをキリストと信じる者を迫害することが、とりもなおさず、キリストご自身を迫害することだ、と

いう両者の切っても切れない生命的関係を悟って、愕然としたのです(使徒行伝九章参照)。

パウロは後年、エペソ人への手紙の中で「教会」について次のように言っています。「神はキリストを万物の上にかしらとして教会に与えられた。この教会はキリストのからだであって」といい、「彼はある人を使徒とし、預言者とし、伝道者とし、牧師、教師としてお立てになった。それは、聖徒(信徒)たちをととのえて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ…ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至るためである」と解き明かしています(四・11-13)。

Q 成る程ノ教会の一員であることの光栄とその責任の重大さがよくわかりました。パウロはダマスコ途上で復活の主を見たのですね。それでこそ、後年、彼は謙虚な思いをもって、感謝に満ちた証しを述べることができたのですね。「しかし、神の恵みによって、わたしは今日あるを得ているのである」と。(Iコリント十五・8-10)

A そうです。私たちも、教職、信徒の立場の違いはあっても、キリストのからだなる教会のために、各自に与えられた賜物を独占せず、「お互いのために役立て」て、「語る者は、神の御言を語る者にふさわしく奉仕(教職)し、奉仕する者は、神から賜わる力による

者にふさわしく奉仕すべき(信徒)です(Iペテロ四・10-11。また、ローマ十二・5-8必読)。

次に伝道ですが、伝道と奉仕は不可離的で、すべての奉仕は伝道に通ずるものです。さしずめ、奉仕は教会内において(使徒行伝六・1-7)、伝道は外に向かつてなされるものでしょう。

使徒行伝に記された初代教会三十年の歴史は、「教会への奉仕と伝道」についての最良の教科書です。わたしたちはこの曲がった邪悪な時代の只中においてのちの言葉を持しつづ、福音宣教のわざに励む者となりたいたいものです。(Iペテロ五・9-10)

★スタンレー博士の思い出

米國ロス市 平田 芳子

主を讚美します。過日は「祈りの友」と「日本アシュラム」会報をお恵送賜わり誠に有難うございました。母国からの読物は嫁いでいる娘が実家からの贈物を喜ぶに似て、特に愛の香りを感じます。このように私の信仰生活に主の良きお導きを賜わり、主御自身がわが道の灯となり給うて下さいます事は小さき者にとり大きな慰めでございます。また「聖霊のパプテスマ」のような良書をおすすめ頂き感謝であります。アシュラム誌を頂いて思い出したことは、岡山県に居りました時、スタンレー・ジョーンズ博士のお説教を聞きに

岡山公会堂や天満屋の講堂に参りました時、忘れられないお言葉です。

一、神のために大きな計画を立てよ。
また日本人は八時二十分の顔をやめなさい。と言われ、一同大笑い致しました思い出はつきません。感謝です。

アシュラムの五大原則

- (一) キリストへの明渡し
- (二) 御言への静聴と立証
- (三) 聖霊の啓導と充満
- (四) 教会への奉仕と伝道
- (五) 神の国の体験と献身

アシュラムの原則と実際

—第3版—

海老沢 宣道 著
新書版 52頁 価300円 千72円

発行所 日本クリスチャン・アシュラム連盟
申込先 東京都目黒区中央町1-21-10 大石 嗣郎
振替口座 (東京) 0-4558番

D.P.タイタス

御国を来らせ給え

訳者 植村 俊雄
(価300円 千72円)

インド途上のキリスト

1986年10月改定版

著者 E.S.ジョーンズ
新訳者 潮江 淳一
(特価1,500円と送料360円)

編集人 白川 嗣郎
発行人 大石 嗣郎
定価 一部60円 千62円

アシラム参加のよみび

◆このような良い集會に初めて参加でき感謝です。導きをいただいたことをこれからの糧として、祈る者になりましたと願っています。

金沢市・内灘教会 長井外美子

◆関西アシラムは二日間とも快晴に恵まれ、四十三名参加しました。わが教会から数名の青年が出席し、集いを豊かにしました。終りの充滿の時には多くの方々から、参加して良かったとの発言があり、小生も来年の集まりまでの力を与えられ、喜び一杯で帰途につきました。

吹田市・扇町教会 戸波 淳

◆イースターに受洗し、初めての参加です。多くの他教会の信者に出会い、それぞれ問題に対応されているのを知り、力づけられました。心を新たに、次回も是非出席できるよう祈っています。

吹田市・千里聖愛教会 江守 猛

◆関西アシラムに今回初めて参加しました。み言葉に聴く集會だと聞いていたので、神様は何を語って下さるかと期待していました。集まりが終わった後の課題は、「ご計画に思いを馳せる」ということです。静聴の聖書、コロサイ書により、「キリストの秘められた計画を思い生きるパウロ」が目に見え

てきました。ともすれば、自分中心の信仰になり易い者ですが、神様のご計画を心に留めながら、今を大切にして行きたいと思えます。

大阪市・山本 昇

◆ふとしたきっかけで、この集まりに出席し、豊かな賜物をいただきました。皆さんが教会に就いて、色々の思いと課題をお持ちであることを知り、互いに折り合えたことで力強い連帯を覚え、また、コロサイ書を静聴して、「あなたがたはキリストの割礼を受けている」とのみ言葉に迫られ、感謝でした。

川西市・長谷川誠一

◆扇町教会の渡部主事に強く勧められこのような教会外の集まりは初めてでしたが、何も分らないままで飛びこんでしまいました。日常生活から一時離れて聖書を読み祈ることが許されて感動しました。有難うございました。

大阪狭山市・北谷 恵

◆「キリストの体である教会のために」整えられた信徒になりたく、心燃やされました。ダイナマイトの力で砕かれた自我を神の愛によってコントロールすること、恥ずべき言葉を口から出さず等、深く瞑想させられました。是非多くの方々から恵みの充滿するアシラムに参加されるよう祈ります。

神戸市・兵庫松木通教会 大森将吉

◆六月のセミナーではお世話になりました。スタンレー・ショーンズの精神

の真髓に触れた幸いです。
横浜市・清水ヶ丘教会 秋山 望
◆主の御名を讃美します。
今年も関東アシラムに参加できたことを感謝します。一九八七年六月の香港日本語教会(当時は島 隆三(牧師)の一日アシラムに出席して以来、私どもに特別な事情がない限り秋の関東アシラム、春のバルナバ・アシラムに出席し多くの恵みをいただけてきました。私のニードは毎回のよう「内住のイエス・キリスト」でしたが、毎回聖書に静聴して御言葉をいただき、御言葉を分か合い、折り合うことが出来て心は満たされました。しかし時が過ぎるとまた元に戻るという状態が続き、今もしっかりと御言葉が与えられるよう祈りつづけて居ります。

一九九一年の秋から翌九二年にかけて、私が所属する教会(今年が十五周年の会堂建築(予算は会堂・牧師館が五千万円、土地一〇九坪は取得済み)が大づめに来た時で、教会の祈祷会で祈り、アシラムでは私の第一のニードとして祈っていたいただきました。会堂会計担当者として「主よ必要を満たして下さい」と祈っている時「主は私の切なる願いを聞かれた。主は私の願いを受けいられる。詩篇六・九の御言葉をいただき、さらに祈りつづけました。そして今年の三月十四日に予定通り献堂式を行うことができました。

「イエスは主である。ハレルヤノ」
日本福音キリスト教会連合
筑波キリスト教会・石谷 類造

個人消息

○声名直道師(東北アシラム委員長、腸ポリープ除去のため十二月中旬入院された。ご快を祈る。尚、東北アシラムは明春に延期。

理事会及びセミナーの予告

○全国理事会及び第三回アシラム・セミナーを次の通り開催します。

日時 一九九四年六月六日～八日

場所 山崎製パン会社箱根山荘

◎第九回スエーデン国際アシラム

日時 一九九四年七月六日～十日

場所 スエーデン・エチエピング

連絡先 連盟事務所・大石 嗣郎

連盟賛助金・献金報告(10・26)

91・4・26 岡田多鶴子(岡田実師永眠記念)

93・3・9 右同 五〇、〇〇〇

〃 9・6 辻中昭一・賛助金 一〇、〇〇〇

〃 9・22 九州地区・分担金 二〇、〇〇〇

〃 10・21 関西 〃 〃 七〇、〇〇〇

〃 10・26 関東 〃 〃 一〇〇、〇〇〇

◎日本アシラム誌(会報・年八回発行)の購読の申し込みは、賛助会費(一口千円)をそえてアシラム連盟事務所にお申し込み下さい。(係・大石)